

授業改善プラン 小学校 第6学年 国語

条件作文を書く活動を通して、自分の考えが伝わるように書く力を育成する！

指導について

- ・ 調査問題概要／市正答率

『資料を読み取り、質問したい内容を条件に合わせて記述する』問題 B²二/正答率 57.4%

- ・ 課題

複数の条件を満たした上で、自分の考えをまとめて書く力が身に付いていない。

- ・ 指導の手立て

「身近な問題についてよびかける文章を書く」という学習課題を取り上げ、複数の条件に合わせて、資料を活用して書いたりする活動を通して、児童に「自分の考えが伝わるように書く力」を育成したい。

【教材名 資料を活用して書こう】

【指導計画と評価】

次	時	指導計画	指導の手立てと留意点 / ☆評価
1	1	教科書P99の文例を構成表に表すことを通して、資料1・2が、文章のどこで、どのような役割を持って活用されているかを読み取る。	・資料の活用箇所を探し出し、3本の柱(「問題点」「影響」「解決」)にそって分類し、資料が使われた目的をとらえられるようにする。 (ワークシート①)
2	1	文例を手がかりに、「ごみを捨てないようによびかける文章を書く」ための課題をとらえる。 教科書の資料を読み取る。	・題やキャプションに目を向けて、書かれている内容を大まかにとらえ、資料の種類に応じて分かることを考えさせたい。(ワークシート①)
	2	文章を書くために必要な資料を選ぶ。 資料から読み取った内容をメモに書き出す。	・資料を2つ選び、3本の柱のうち「どこで生かすか」「どのように生かすか」を考えてメモを書くように助言する。(ワークシート②) ☆適切な資料を選び、読み取ったことや文章に書く内容をメモに整理することができたか。 (書くこと、ワークシート)
	3	ごみを捨てないようによびかける文章を書く。(条件:資料2つを使い、事実と感想や意見を区別して書く。字数400字～800字) 自分の書いた文章を読み返す。	・メモをもとに段落の組み立てや書き出し、文末表現などにも気をつけて、よびかけの文章を書かせる。(ワークシート②) ☆資料を効果的に活用して、よびかけの文章を書くことができたか。(書くこと、作文)
3	1	書いた文章を交換して読み合う。 読み合って見つけた資料の読み取り方や生かし方を出し合う。 資料の読み取り方や生かし方についてまとめる。	・文章を読み合い、よかったところや工夫しているところをワークシートにまとめ、資料の読み取り方や活用の仕方について助言し合う。